

アンケートのお願い

特定非営利活動法人はなしのぶ

令和元年度・大阪市ボランティア活動振興基金による事業 「福祉課題に取り組む調査研究支援事業」
(事業名：過去に不登校気味だった特性のある高校生へのキャリア教育の教材の開発と実践・検証)

1. お子さんの年齢・性別・現在の状況を教えてください

年齢	性別	現在の状況 (例：学生・就B・一般就労等)
歳		

2. 就労にあたって、保護者が不安なこと (不安だったこと) を以下の中から3つ選んでください。(番号で答えてください)

① 身だしなみ・適切な言葉や態度	② 欠勤・遅刻・毎日定時に通うこと (例：無断での欠勤、無断での遅刻)		
③ コミュニケーション (例：挨拶・返事・報告・連絡・相談)	④ 移動手段 (例：公共機関を使って通うこと。 急なトラブルへの対応など)		
⑤ 不安なことや困ったことがあった時の表出 (例：黙る・泣く・人を叩いてしまう そのまま帰宅してしまう、など)	⑥ 適切な指示や支援がないまま、叱られてしまうこと (例：全員が使う冷蔵庫に飲み物を入れ、他の人の飲み物を飲んで叱られる)		
⑦ 力はあるのに、自分で方略ができない (例：指示が多い時のメモの活用、 気分転換の方法など)	⑧ 人間 (対人) 関係 (例：フォローしてくれる人がいるか。 嫌がらせなどがいないか、など)		
⑨ お金の管理や使い方・お金の概念 (例：物を買う時の優先順位、あるだけ使ってしまう、 高価で不要な物を買うなど)	⑩ 自己理解 (例：自分の長所、短所、適正を正しく知り、 自分に合う職業を選択することなど)		
番号で3つ選んでください。	番	番	番

3. 上記の不安なこと (不安だったこと) を「例」のような形で、具体的に記述してください。

番号	番	
	番	
	番	

アンケートのお願い

特定非営利活動法人はなしのぶ

令和元年度・大阪市ボランティア活動振興基金による事業 「福祉課題に取り組む調査研究支援事業」
(事業名：過去に不登校気味だった特性のある高校生へのキャリア教育の教材の開発と実践・検証)

4. 今年度、当法人では「高校生へのキャリア教育の教材の開発と実践・検証」として、就労や進学に向けての事業を行います。そこで、就労や進路に向けて、高校生への必要な支援や、スキルの獲得に向けて大切にして欲しいことなど、お聞かせください。

例：就労支援施設で、実際にアルバイトの体験をする。

適正テストなどをして、自分にあう仕事について考える

進学に向けて、オープンキャンパスの日程などを調べる。またオープンキャンパスでのチェックポイントを考える

大学にかかる費用の計算やアルバイトとの両立について考える機会

少し年上の人との体験談を聞く

相談や報告に向けてのロールプレイ

困ったこと、嫌なことがあった時の問題解決の方法を学ぶ

5. お子さんの現在の状況の中で、ご本人が頑張っていると感じることと、一番の課題をお聞かせください。

ご本人が頑張っていると感じること	一番の課題

ありがとうございました。必ず有意義な支援に活用させていただきます。